

(案)

第2回認証産業の在り方検討会
独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターの
取り組みと今後の活用について

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター次長 吉田 耕太郎

1. これまでの取り組み事例

認証のために欠かせない「試験結果の信頼性確保」のための、試験所認定プログラムの創設と、認定授与

- ASNITEにおいて、洗剤やプラスチック素材等、幅広い製品や素材を対象とした**国際・海外規格に基づく抗ウイルス性試験の認定プログラムを新規創設**した（令和3年7月）。
- 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター（QTEC）の申請受理後、速やかに認定審査業務を実施し、**抗ウイルス性試験所として国内で初めて認定**した（令和3年12月）。

- 洗剤、繊維、プラスチックなど生活に身近な抗ウイルス関連製品に対して**信頼性の高い試験証明書が発行可能**となった。
- 他の抗ウイルス性試験所の動向：**申請中2件、申請相談6件** ※抗菌・抗ウイルス関連製品の市場（1兆円以上）発展に貢献
- 調達基準、SIAA認証などで証明書が活用

＜抗ウイルス性試験の試験所認定、試験結果の活用の流れ＞



抗ウイルス性試験の様子



（株）キッチンスタHPより引用



エース（株）HPより引用



公共機関や小売りなどの調達基準



抗菌・抗ウイルス関連製品（SIAA提供）

認証スキームが必要とする認定プログラムの創設と認定授与

鉄道製品輸出のための認証

- ◆ 信号システムをはじめとした日本の鉄道製品は世界的に優れており、海外への輸出が進められています。
- ◆ これらを海外市場に輸出する際、国際基準に適合した認証書が要求されることがあります。これら認証書を発行する製品認証機関は、ISO/IEC 17065認定を取得することで、信頼性が確保されています。
- ◆ （独）自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 鉄道認証室（NRCC）は、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。認定により、我が国初の鉄道分野の認証機関として、日本製品の信頼性向上、海外展開に貢献しています。

※参考（IAJapanウェブサイト）
https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news_20180516.html
○窓口
認証機関名：独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 鉄道認証室
URL：<https://www.ntsel.go.jp/certification.html>



＜鉄道分野での認定活用について＞



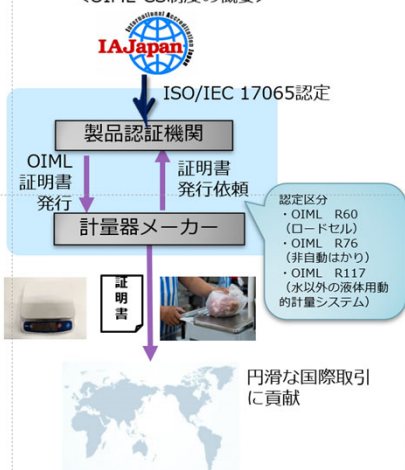
OIML-CS制度

- ◆ OIML-CS制度は、OIML 国際勧告に基づき、食品売場や調剤薬局で使用されるはかりなどの計量器の証明書を国際相互受入れするための国際的な証明書制度です。本制度において、証明書発行機関はIAF MLA署名の認定機関からのISO/IEC 17065認定の取得等が求められています。
- ◆ （国研）産業技術総合研究所は、IAJapanからの認定に基づいてOIML-CSの証明書発行機関として登録されました。これにより、OIML-CS制度参加国間同士で手続きが簡略化され、計量器の国際貿易の円滑化に貢献しています。

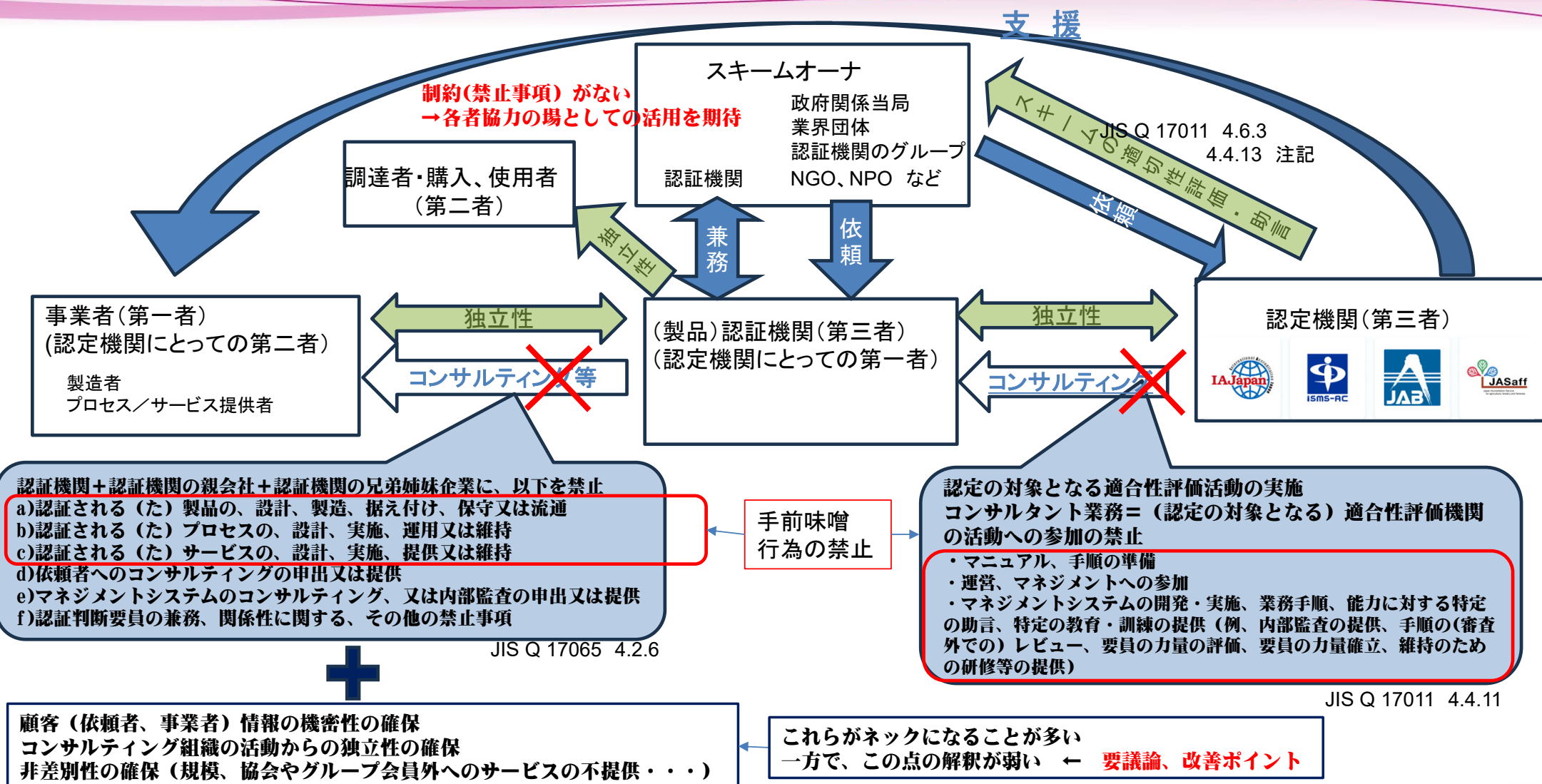
※参考（IAJapanウェブサイト）
https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news0312.html
○窓口
認証機関名：国立研究開発法人産業技術総合研究所
URL：<https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/metrolqual/legal/>



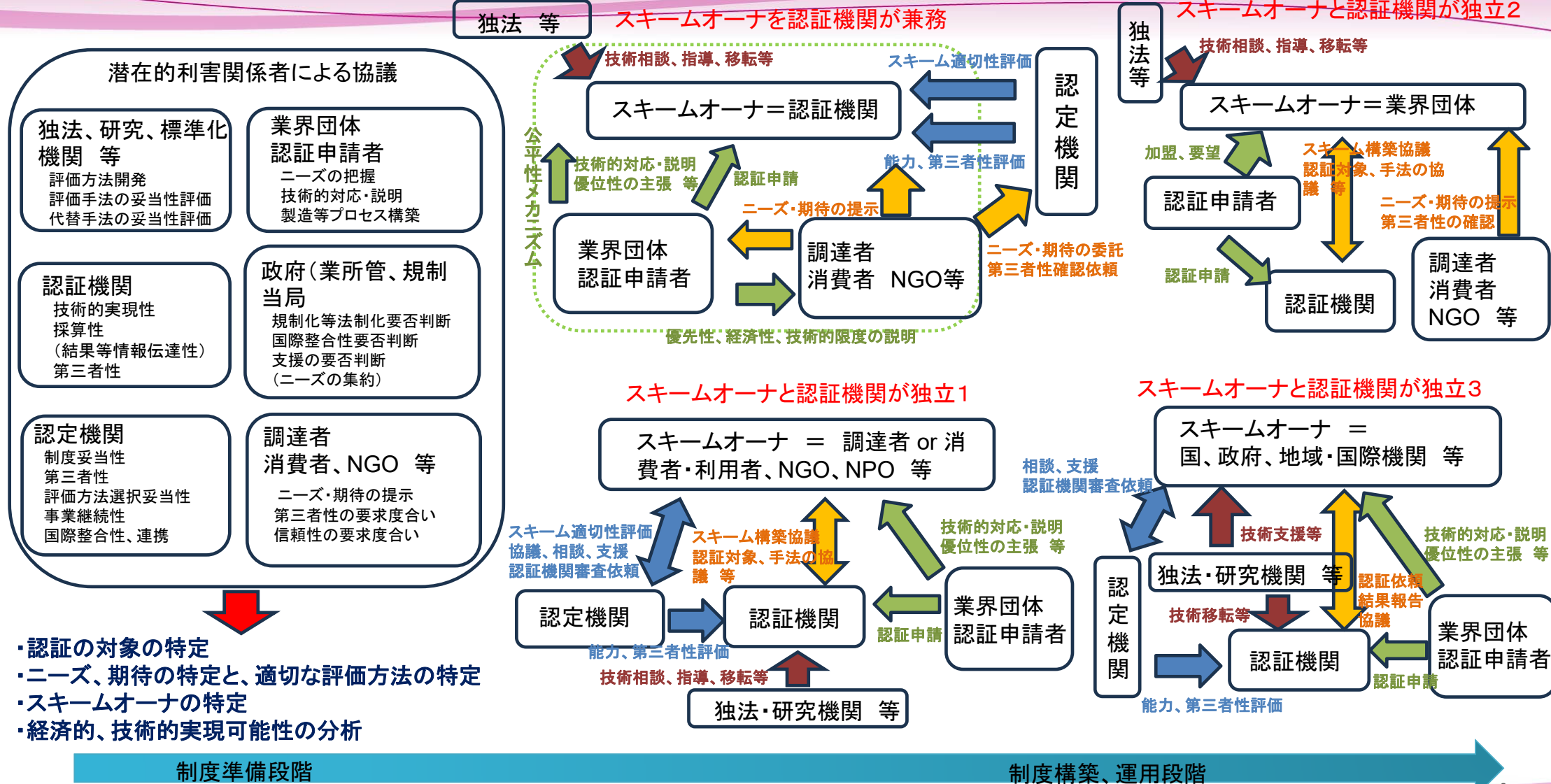
＜OIML-CS制度の概要＞



2. 事業者、認証機関、認定機関の関係性の制約について(コンサル等)



3. 認証にかかわる各主体のあるべき関係性・役割



4. NITE認定センターの取り組み

(1) 適合性評価ガイドブック2023の作成、公開

- ・適合性評価制度の歴史、国内外の状況、日本が目指すべき適合性評価の方向性などを掲載
- ・「適合性評価」について考えるきっかけとして、「適合性評価」を知るための教科書としての活用を期待
- ・今後も内容の充実、アップデートを予定

[「これからの日本の適合性評価制度のあり方を考える調査・検討報告書\(適合性評価ガイドブック2023\)」を公開しました | 適合性認定 | 製品評価技術基盤機構 \(nite.go.jp\)](#)

(2) 「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラムの構築と開始

- ・これまでの認定機関としての知見やネットワークを活かして令和5年度に、プログラム開発を行い、現在、第1期の講座を開講中(令和6年 2月1日～29日 毎週木曜午後に関講)
- ・認証スキームの開発や構築支援を担う人材の輩出を目指している



令和4年度に本格的に開始した、製品や技術などの評価支援のためにNITE各部門等を有機的に連携した組織である「チームNITE」の具体的な活動(支援)例

(3) 認証等適合性評価制度(スキーム)構築、実現支援

- ・適合性評価制度に期待が高まる「第三者性・信頼性」の確保に貢献するべく、ASNITE認定プログラムによる**新たな認定スキームの構築・サービス提供**や**既存認定プログラムの拡充**
- ・適合性評価制度構築検討の機会への参加や実現化への支援





有望技術・新製品を眠らせない！ 規格を活かす、規格を活かす。






NITE「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラム

有望技術の活用やその技術を用いた新製品開発において、研究開発段階からその評価基準となる規格の活用・普及の取組を進めたいことが、社会実装への近道です。本講座では、NITEが行う公開型の高い信頼性や有する専門性、そして関係機関とのネットワークを活用し、実用の社会実装を加速するための社会実装を加速させる人材育成プログラムを提供します。

講座案内

講座名：「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラム

テーマ：適性評価の基礎知識、適性評価スキル基盤開発スキルの習得
形式：座学形式、グループワーク形式併用

主催：独立行政法人 科学技術振興機構（NITE）

開催日：2024年12月16日（火）13:00～15:00（すべて本欄目）**5 連続開催型**

会 場：NITE 内 会議室（東京都中央区西国薬ビル24-109）

総費用：〒東京都千代田区千代田5分間の10分
小田原駅・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩15分

受講料：無料 ※交通費は各自負担となります。参加に必要となる費用はございません。

定 員：20名 ※お申し込みの多い順に優先させていただきます。

定員
20名



■ 申込締切日：2024年11月19日（金）17:00まで

■ 申 込 方 法：下記ウェブサイトから受けたいです。お申し込みください。

NITEウェブサイト ▶ 「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラム

<https://www.nite.go.jp/nite/innovation/jinzaiuke/indx.html>

※社会実装の推進、オンライン開催による参加の拡大を目的としています。





National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 科学技術振興機構

NITE「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラム	
2月1日 (木) 午後	適性評価の基礎知識 第1回 標準化と適性評価の関係、適性評価システムに関する基本的知識を理解する。
2月6日 (水) 午後	適性評価制度の事例分析 第2回 ものづくりの現場でよく使われる認証制度の役割、具体的な適性評価制度の事例について学ぶ。
2月15日 (木) 午後	適性評価システムの開発と実装 第3回 国際的な適性評価システムの開発・導入の動向について学ぶ。また、適合性評価システムに用いられるセンサー、試験、検査、監査、安定性評価(検証)の役割と意味について理解する。
2月22日 (水) 午後	適性評価システムの構築実習 第4回 システムへの理解を深めるとともに、これまでに習得した知識を活用して実際に適合性評価システムの構築実習を行う。
2月29日 (水) 午後	演習のまとめ、適性評価と認定制度 第5回 演習で構築した適合性評価システムの内容や改善点について、講師の質問と回答を繰り返して確認する。 最終に、適性評価における認定制度の活用について学ぶ。
<留意事項> ※申込締切後、申込者数の不足等により2日以上の差が生じ、開催が中止・延期の場合は要領に記載のとおり、あらかじめご連絡させていただきます。 ※要領の添付メールにて申込者名を記載してください。 ※NITE「NITEウェブサイト」社会実装・規格活用/実現化人材育成プログラムにてご確認ください。	
申込 申込 締切日：2024年1月19日（金）17:00まで 申込 申込 方法：下記ウェブサイトから申し込みいただき、申込申し込みください。	
NITEウェブサイト▶「社会実装・規格活用」実現化人材育成プログラム https://www.nite.go.jp/pinter/innovation/inizake/index.html	
※本研修は、個人・企業・団体の申し込みを前提としており、個人での申し込みは受け付けません。 ※プログラム終了後、修了証明書を交付いたします。	

